



弥生っ子

学校だより 第10号

令和8年1月30日
千葉市立弥生小学校

「気持ちを一つに」

校長 高山 邦美

校庭の花壇には菜の花やネモフィラが咲きそろい、子供たちが育てているパンジーも元気に成長しています。自然の変化に子供たちの成長が重なる、うれしい季節となりました。

1月21日(水)、弥生小学校を会場に球技大会が行われ、サッカーとバスケットボールの試合が行われました。短い練習期間ではありましたが、子供たちは「最後まで諦めずに挑む気持ち」

「仲間を応援する気持ち」を大きく育てることができました。5・6年生の廊下には、子供たち一人一人の感想が掲示されています。どの言葉にも、仲間と気持ちを一つにしてやり抜いた充実感が綴られており、成長の確かな足跡が感じられます。弥生小は、2年間に渡って球技大会に臨むので、5年生は来年の球技大会に向けて、6年生は中学校でさらに大きな挑戦をしてほしいと願っています。試合当日、在校生の真っすぐな声援が校庭や体育館に響き渡り、その声は選手たちの勇気と力になりました。保護者の皆様には、日頃より子供たちを支えていただき、当日も寒い中、力強い応援を届けてくださり本当にありがとうございました。保護者の皆様の思いは、子供たちの大きな励みとなりました。

令和7年度もいよいよ残り2か月となりました。どの学年も1年間のまとめに取り組み、子供たちは日々、成長を積み重ねています。そしてもうすぐ、6年生が弥生小を旅立つ日がやってきます。在校生に、6年生についてインタビューをすると、こんな言葉が返ってきました。「一緒に遊んでくれる6年生が大好き」「いつも優しい6年生」「掃除のやり方を丁寧に教えてくれた。」それは、6年生が日々どんな姿で学校に向き合って生活してきたかを、そのまま物語っていました。登校時に下級生と一緒に並んで歩いている姿、委員会活動に真剣に取り組む姿、自分のことよりも在校生のことを考えて行動する姿。どの姿も、在校生にとって大きな目標になっています。6年生は本当に誇らしい存在であり、弥生小の「自慢」です。そんな素敵な6年生とのお別れの日が少しずつ近づいています。残された2か月は子供たちが少しでも多くの思い出をつくれるように、大切に過ごしていきたいと思います。また、この時期は、6年生の活動を5年生が引き継ぐ大切な時期でもあります。弥生小を支えていく中心として、5年生の成長も温かく見守っていただければ幸いです。

最後に、本校では、毎月「生活目標」の振り返りとしてアンケートを行っています。最初の質問は「うれしかったことはなんですか。」から始まります。その後、「頑張ったこと・ひやかしやからかいを受けていないか・仲間外れや暴力を受けていないか・物を隠されることがないか・困っていることや心配なこと」などを尋ねています。まず子供たちが自分の頑張りやよかったことを思い出し、自分自身を肯定できるように。そして、次に心配事があれば、丁寧に話を聞き、改善につなげていくための取組です。近年SNSでのトラブルや暴力的な映像の拡散など、全国的に心が痛む出来事が報じられています。文部科学省からも全国調査が実施され、本校でも取り組みました。大人の目が届きにくい場面が増えている今だからこそ、いじめを「させない・ゆるさない」環境づくりや子供たちの心を耕す日々の取組、仲間を大切に、自分も大切にできる力の育成を一層重視していきます。保護者の皆様のご協力をいただきながら、子供たちが安心して学校生活を送れるよう、学校全体で取り組んでまいります。お子様の様子で気になることや相談がありましたら、どうぞいつでも学校へご連絡ください。